

えがお届け隊 活動視察

●日時：平成 28 年 3 月 19 日（土）13：30～15：30

●場所：西区 弁天通商店街の街角資料館

【えがお届け隊について】

弁天通商店街を中心とする地域で、大学生が主体となるまちづくり活動を始めました。今年は、助成金を活用して、商店街にある街角資料館で、ガイド等の案内人がいなくても子ども達が展示物の内容を学習し、理解できる“セルフガイドシステム”づくりに取り組みます。

これは、クイズ形式を取り入れることで、体験的により深く学習をすることができる展示方法です。「地域の歴史」をクイズ形式で学ぶことで、地域を好きになり、新たな発見が生まれることでまち全体が住みよい環境になること、また街角資料館の認知度の向上を目指します。

【活動の様子】

3 月 19 日（土）13：30 西区の弁天通商店街の街角資料館（くらしの衣料大沢屋）で「まちかどれきしクイズ大会」が行われ、近所に住む子どもや親子が参加しました。

街角資料館には、レトロな雰囲気の昭和 30 年から 40 年代の家具やおもちゃ、生活用品や看板、家電製品が多く展示してあって、大人も子供も楽しめます。

ガイド等の案内人がいなくても子ども達が展示物の内容を学習し、理解できる“セルフガイドシステム”による展示がしてあり、レジスターや電話機、白黒



街角資料館の入口看板



セルフガイドシステムによる展示



テレビ等の昔の生活用品や、家電製品をクイズパネルで学びながら答えを考えます。クイズのヒントには仕掛けがあって楽しみながら知識が学べます。

展示物のほとんどは、昭和40年代の物で、平成に生まれた小学生には見た目も使い方もとてもめずらしい様子でした。



クイズパネルのヒントの仕掛け



クイズパネルのヒントを探す子ども

クイズの後は、交流タイムです。地元の弁天通商店街にある和菓子屋のカステラや、3色だんごなどもあり、大人も子ども達もとても満足なようすでした。

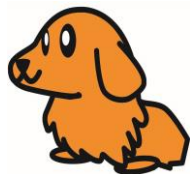
その後、スタッフの話を聴きながら、クイズパネルにあったダイヤル式の電話機やレジスターに触れたり、「むかしのどうぐトランプ」を使用したかるた大会で盛り上がりました。



「むかしのどうぐトランプ」を使用したかるた大会

参加者からは、親子で楽しく学ぶことができ、学生のスタッフのみなさんの対応もよかったという感想がありました。クイズパネルで、昔の生活用品を学ぶことができ、大人も子どもも楽しめる街角資料館の存在をより多くの人に知ってもらい活用してほしいと願います。

今後も、弁天通商店街と連携したイベントの開催などにより、街角資料館の認知度が高まり、さらに地域の活性化につながっていくことを期待します。



～こいぬさんの感想～

レトロな昭和の生活用品や家電がセルフガイドシステムによって、わかりやすく、工夫して展示してありました。

今後は、街角資料館が住民のみなさんの交流の場としてどのように利用されていくのかが楽しみです。